

介護、墓、葬式…終活本では分からない死への心構え

週刊ダイヤモンド

特集2 愛憎渦巻く
LCC乱気流

DIAMOND
WEEKLY 2016
定価 710円 8/6

第104巻31号 / 毎週土曜日発行
平成28年8月6日発行
大正2年5月10日第3種郵便物認可

死生学 の ススメ

生どう 逝きますか

介護 死別 終末期

家族の最期、考えませんか
あなたは延命を望みますか

死生観1万人大調査

死ぬ準備していますか
墓・葬式は必要ですか

生と死の科学

臨死体験って本当ですか
AIは死を考えられますか

仕事に生きる誌上講義

働き方を変えませんか
死生観が生む3つの力





オフタイムの楽しみ 子育て・教育

熱血教師とエリート商社マン 子どもたちに尽くした奮闘記

テ

ニアン島での玉碎で夫が戦死した女性は、「子どもたちと死のう」とまで思い詰めたが、女手一つで、農業をしながら子が育て上げた。その子は中学校の教師となり37年間勤め上げた。『谷川流 教師の本懐』は、そんな男の教師一代記であり、学校格闘記ともいえる本である。主に昭和の中学校の空気が臨場感と共に伝わってくる。もともとこういう学校現場の本音の本が出てくるべきだ。不良

と真正面からぶつかり、子どもたちから愛され、トンデモ教師集団と戦い、熱血漢として生き抜いた姿を美しいと思う。きっとそんな熱い著者の中心には、無償の愛を注いでくれた母像があるのだろう。『奔走老人』は、商社のエリートサラリーマンとして働き抜いた男が、60歳を過ぎて退社し、そこから一念発起。東南アジアの貧しい地域に、何と200以上の学校を建設した物語。現代の伊能忠敬といっても過言ではない。



『谷川流 教師の本懐』
谷川勝男 著
(柏艸舎 1900円)



『奔走老人』
谷川洋 著
(ポプラ社 1500円)



『「パパ」はどうしてパパなの?』
鈴木英敬 文/プレイセットプロダクツ 絵
(エムオン・エンタテインメント 1300円)

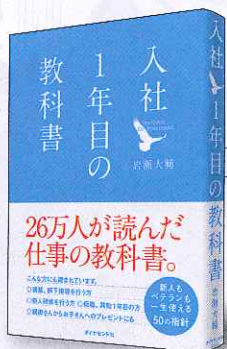
選・評
高濱正伸
花まる学習会代表

老後の生き方として「教育」を選ぶと、こんなにも生き生きと輝いて生きられるのだという、お手本である。趣味の山登りなども結構だが、やはり人の役に立つというのは充実するし、中でも次代を担う子どもたち、それも本心に援助を必要とする子たちのために尽くすという選択は、満月のような

幸せを得られるのだ。『「パパ」はどうしてパパなの?』は、男女の役割や認識が変わった平成という時代を感じさせる作品。鈴木英敬・三重県知事が、わが子への思いを絵本にした。生きていく上で大切になる他者との関わり・家族の意味など、正解があるわけではないが、大人の考えをきちんと示しておかねばならない哲学について、直球で仕上げた。男女の役割分担などの旧弊が解かれ、新しい父像が生まれた現代の、父親の在り方の一つの模範を示している。歴史の転換点を感じさせる。

入社 1年目の教科書

若手だけが読むのはもったいない!
部下育成 後輩指導の必読書!



「仕事に取り組む姿勢」と「実際にどう動けばいいのか」を教えてくれる本

新人もベテランも 今日から変わる 一生使える50の指針

- ◆50点で構わないから早く出せ
- ◆会議では新人でも必ず発言せよ
- ◆敬語は外国語のつもりで覚えよ
- ◆苦手な人には「惚れ力」を発揮 など

ライフネット生命保険株式会社 代表取締役社長兼COO
岩瀬大輔 著
定価: 本体1429円(+税)
978-4-478-01542-1

ダイヤモンド社